

西南学院の創立年の再考

寺園 喜基

本年2008年に私たち西南学院は創立92周年を迎える。それは、男子中学校として発足した「私立西南学院」が、1916（大正5）年に福岡県知事から設立の認可を得たことに基づいている。このように県知事の設立認可の年をもって西南学院の創立年とすることは、確かに意義あることであり、また学院関係者のほとんどは今までこれを当然のこととしてきた。ただしその場合、1911年（明治44）年の「福岡バプテスト夜学校」や、さらにこの前の1907（明治40）年に設立された「福岡バプテスト神学校」は、前身である、と理解されてきたのである。しかし私は問いたいのだが、「私立西南学院」にとって、「福岡バプテスト神学校」や「福岡バプテスト夜学校」は、単なる「前身」なのだろうか、むしろ「源流」なのではなかろうか。したがって西南学院の創立年は「源流」にさかのぼって、再考すべきではないか、と。本小論において、このようなことを提案してみたいと思う。

1907（明治40）年、在日宣教師団の理事であったC. K. ドージャーはミッション・ボードに書簡を送り、神学校設立の必要性を訴えた。そして宣教師住宅を売却して警固に学校を建て、同年10月17日に福岡バプテスト神学校の開校式が行われた。翌1908（明治41）年には大名町に土地を得て移転し、神学校の校舎と寄宿舎が建築された。福岡バプテスト神学校は1910（明治43）年、横浜バプテスト神学校と合併され、日本バプテスト神学校となり、所在地は東京になった。ドージャーはこの神学校の移転跡に、1911（明治44）年福岡バプテスト夜学校（Fukuoka Baptist Night School）を開校し、自ら校長となる。しかしドージャーも在日宣教師団もこの夜学校にあきたらず、キリスト教学校を設立すべきことを決議し、翌年、男子中学校設立の承認と援助を求める嘆願書をボードに送った。そして幾多の曲折を経て1916（大正5）年2月、私立西南学院が設立されたのであった。11月には「私立中学西南学院」と改称されている。この校舎としては、福岡バプテスト神学校の校舎が用いられた。2年後に現在の西新町に移転するが、土地購入には大名町の土地の売却益が当てられ、校舎は移築されて古いものは1969（昭和44）年まで用いられた。

このような歴史を振り返ってみると、1907（明治40）年10月17日に開校式をした福岡バプテスト神学校は現在の西南学院の単なる前身とは言えない。むしろこの間に精神的にも、人的にも、物的にも、明確な連続性が存するのである。この事実を踏まえ

るなら、西南学院は福岡バプテスト神学校を源流とし、創立年は1907年とする、というようにすべきなのではなからうか。そうすることによって、男子中学校より4年前に開設された舞鶴幼稚園も、学院史の中に組み込まれるのである。

学校の創立年の決定の仕方について、取り決めがあるわけではない。日本キリスト教史を専門とする本学国際文化学部の塩野和夫教授によれば、創立年をどこに求めるかは、その学校の自己理解に基づくという。それは行政の認可年と必ずしも一致する必要はないのである。多くの中から4つの学校を実例として見てみよう。

慶應義塾は今年、創立150年を祝うという。それは大学が発足した1890（明治23）年から起算したのでもなく、幼稚舎が発足した1874（明治7）年からでもない。それは実に1858（安政5）年に福沢諭吉が蘭学塾を創始したことに、出発年をおいている。この年に福沢諭吉は、築地鉄砲洲の中津藩中屋敷内で、蘭学を教える家塾を開いたのである。この塾は10年後の1868（慶應4）年に慶應義塾と命名されたのである。

また早稲田大学は昨年創立125周年を迎えたが、1882（明治15）年の東京専門学校の開校から起算している。これは1902（明治35）年に大学と改称されている。

事情はキリスト教系の学校でも同様である。フェリス女学院は今年で創立138年を迎える。それは、横浜で活動する医療宣教師ヘボンの施療所で宣教師キダーが男女の子供に授業をした、1870（明治3）年から起算しているのである。岡野昌雄院長は「ブ



福岡バプテスト神学校開校記念：中心にドージャーが正装して写っている
（1907年10月17日西公園の石段にて）

ラウンがフェリス博士に宛てた（1870年）9月23日付の手紙にも『ミス・キダーは2日前にヘボン博士の施療所で、学校の授業を始めました』とある。そのため、9月21日をもってフェリス女学院の創始としている」と書いている（『キダー公式書簡集』フェリス女学院発行、35頁）。

関東学院は私たちと同じバプテスト系で、北部バプテスト連盟によって建てられたキリスト教学校である。「私立中学関東学院」は1919（大正8）年に「私立西南学院」より3年遅れて認可・設置されたが、すでに1984年に建学百年を祝っている。それは1884（明治17）年の横浜バプテスト神学校から起算しているからである。

以上のような西南学院の歴史と他の学校の具体例とを踏まえて、大学神学部が1年遅れではあるが、今年の8月に日本バプテスト壮年連合と共催で神学部建学百周年の記念行事を行うことは、大変に適切なことであると思う。それと同時に、1学部のみでなく西南学院が全体として、上述のような視点に立って、西南学院の創立年を再考すべきであると、切に願うものである。（ただし創立百周年へ向けての動きはこれまでの起算にしたがってはしまっているのだから、それ以後の周年行事を何周年からか、新しい起算方式にしたがって行うということを提案したいと思う。）